

日本の伝統を大切にしたい、
誰にでも愛される歌…。

6



♪信州広くも
中野がなけりや
ヨイトコラドッコイサノ
セツセツセ 「中野小唄」

そうだ!
囃子言葉 ※だ!
「ララ」を入れよう!



※囃子言葉…歌を盛り上げるために入れられる短い言葉

こうして、
後の大作作曲家・中山晋平の
最初の作品
「カチューシャの唄」が
完成しました。

7



8

信州なかの音楽祭の会場で、
この物語を美しい歌声と共に楽しみましょう!
会場でお待ちしています!



中野市地域おこし協力隊がゆく!

信州ながの日和

File:17



収穫の季節。
今年もおいしい
農産物をいただきます!

今月の協力隊員 青木一弘 隊員
問 地域振興課 ☎ 38-3111

地域での活動を通じて

この夏、ふるさと冒険クラブの「夏だ!山だ!キャンプだ!」に実行委員として参加してきました。

今年はまだらおの湯キャンプ場を会場に約60人が参加。大人と子どもが一緒になって火おこしをしたり、魚のつかみどりをしたり、飯ごう炊さんやドラム缶風呂も体験。豊かな自然の中で元気いっぱい動き回る子供たちの姿を見て、私もうれしくなりました。

この企画には昨年に引き続き2回目の参加でしたが、1年目に比べて知り合いも増えてきました。こうした地域での活動を通じて生まれた繋がりを大切に、今後ももっと皆さんの中に溶け込み、地域社会に貢献ができればと思います。



1



2



3

- 1_ 飯ごう炊さんで炊いたご飯の味は格別!
- 2_ テント張りも子供たちの手で行います。
- 3_ 替佐若連会にも入会。小鯛(小鼓)を担当しています。



池田市長の vol.68 わくわくレポート

信州なかの音楽祭に寄せて

今年も信州なかの音楽祭の季節が廻ってきた。夏が終わったこの季節、世界的な音楽都市ウィーンでもさまざまなコンサートシーンがスタートする。秋は、空気が澄み、自然の色彩が一段と鮮やかになる季節であり、そうした気候のもとで、響き奏でられる音楽は、実に心地よく、心象にのこるものが多い。

さて、中野市は市民の誰しもが知る、中山晋平、高野辰之、そしてジブリ音楽で有名な久石譲先生をはじめとして、実に多くの音楽関係者そして愛好家を育てている。

先日、東京サントリーホールでの久石譲先生のコンサートを拝聴する機会を得た。先生のナウシカ交響曲は有名だが、コンサート最後のほぼ全員によるスタンディングオベーションは圧巻であっ



◀市民の参加により創りあげられるオペラ『中山晋平物語』練習風景。

た。音楽は、時に個々人の心象風景と共鳴し、私たちにさまざまな感情を呼び起こす。一方で音楽(合奏・合唱)を通じて、ともに創りあげる喜びに、参加者と一緒に浸る。音楽の持つ力は実に大きく、そして強いものがある。

今年編作オペラ『中山晋平物語〜カチューシャの唄〜』が大勢の参加者のもと公演される。練習を重ねての大舞台をみんなで演じ創る、その成果が楽しみである。中野市ならではの音楽祭プログラムである。今年の音楽祭も市民の皆さんの積極的な参加により創りあげられており、是非とも多くの皆さんとともに、共鳴し新たな感動を分かち合いたいと思っている。